

# 2008年3月期（2007年度） 事業の業績（連結）

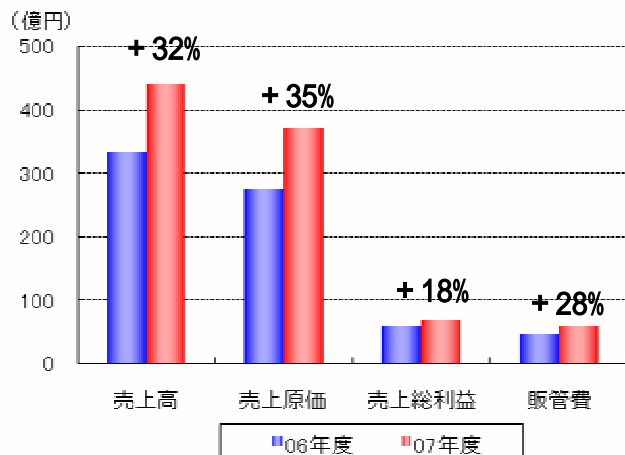
(単位：百万円)

損益	07年3月期	08年3月期	前期比
売上高	33,276	43,956	132%
売上原価	27,465	37,106	135%
売上総利益	5,811	6,850	118%
販管費	4,640	5,918	128%
営業利益	1,170	931	80%
経常利益	1,332	700	53%
当期純利益	1,119	△ 189	117%
1株当たり 純利益 (円)	23.81	△ 4.14	117%

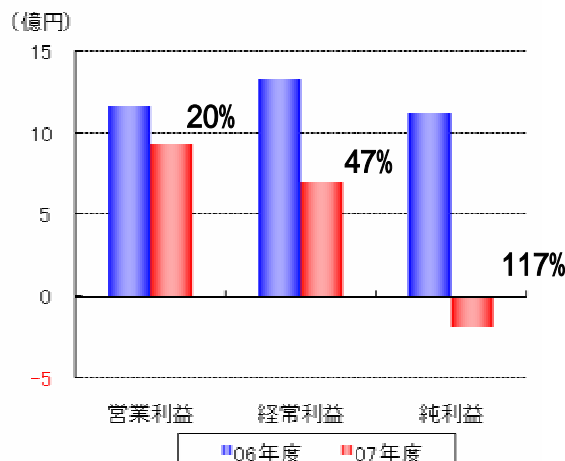
## 特徴

1. 売上高は、前期比+32%の大幅増加となりました。主たる要因は、新規事業として取組んでいるリチウムイオン電池材料が順調に拡大したことと、07年3月期の下期から連結子会社化した富士化水工業(株)が通期分反映されたことによります。この他、カラートナー用材料、ICタグ用アンテナ、チップ部品用材料、ケーブル被覆用環境安定剤、中国で展開しているボンド磁石材料等の拡販も寄与しています。
2. 売上原価は前期比+35%、販売管理費は前期比+28%とともに増加しました。富士化水工業(株)の連結子会社化の影響と原燃料価格の上昇が主たる要因となっています。
3. 原燃料価格の上昇に対しては、物流コストを含めた製造コストの原価低減活動を精力的に推進するとともに、売価への転嫁にも取り組みました。
4. 以上の結果、改善の努力にも拘らず営業利益は前期比 20%と、遺憾ながら減益となりました。

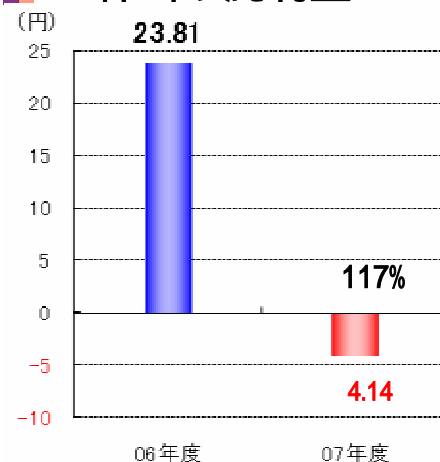
## 売上高、販管費等



## 利益



## 一株当り純利益



# セグメント別売上高

(単位：百万円)

	07年3月期	08年3月期	前年同期比	包含事業
機能性顔料事業	14,643	14,234	97%	電子印刷材料、磁気記録材料、顔料、ダイオキシン抑制触媒/コンパウンド など
電子素材事業	12,258	19,456	159%	電池材料、電磁環境部品/材料、磁石/磁石材料、電子印刷部品、半導体装置、塩化ビニール安定剤 など
エンジニアリング事業	6,375	10,265	161%	環境エンジニアリング、土壌浄化用触媒 など
合計	33,276	43,956	132%	

1. 機能性顔料事業では、商品の交代と景気の停滞を背景に、前期比3%減の減収となっています。
2. 電子素材事業は、電池材料が順調に成長し、前期比59%増と大幅な増収となっています。
3. エンジニアリング事業は、富士化水工業(株)が通期分の連結となったことで、前期比61%増と大幅な増収となっています。(前期は半期分の連結)

# 2008年3月期 貸借対照表科目

(単位：百万円)

貸借対照表科目	07年3月期	08年3月期	増減
流動資産	24,472	27,902	3,430
固定資産	26,524	28,960	2,436
流動負債	15,863	20,005	4,142
固定負債	5,683	9,431	3,748
少数株主持分	436	299	△ 137
株主資本	28,300	27,034	△ 1,266
総資産	51,002	56,862	5,860
現金/同等物	6,188	6,294	106
キャッシュフロー	1,643	106	△ 1,537
ROE (%)	3.9	△ 0.7	△ 4.6

# 貸借対照表科目の特徴

1. 総資産の増加 5 8 億 6 0 百万円の主たる要因は、事業拡大のための設備投資とH.C.スタルク社の電池事業買収によるものです。
2. 流動資産の増加 3 4 億 3 0 百万円の主な要因は、H.C.スタルク社の電池事業買収によるたな卸資産の増加です。
3. 固定資産の増加 2 4 億 3 6 百万円の主な要因は、新規事業への設備投資による増加です。
4. 流動負債の増加 4 1 億 4 2 百万円の主な要因は、原燃料価格高騰による仕入債務の増加と設備投資増加に伴う設備未払金の増加です。
5. 固定負債の増加 3 7 億 4 8 百万円は、借入金です。
6. キャッシュフローについては、投資活動によるキャッシュアウトを財務活動による資金調達と営業活動のキャッシュフローでバランスさせました。
7. R O E は、純損失が発生したことから 0 . 7 % となりました。

# 主な連結子会社の状況

(単位：百万円)

会社名	売上高		経常利益		決算期
	07年3月期	08年3月期	07年3月期	08年3月期	
富士化水工業株式会社	12,181	11,458	321	△ 253	1月末
戸田マテリアル株式会社	1,463	2,542	△ 147	65	3月末
戸田ピグメント株式会社	1,877	1,807	△ 40	△ 39	3月末
戸田工業ヨーロッパGmbH	504	2,551	20	△ 265	3月末
戸田アメリカInc.	2,061	2,078	42	50	3月末
戸田塑磁材料(浙江)有限公司	427	690	58	97	12月末
戸田アドバンストマテリアルズInc.	-	409	-	26	12月末

1. 富士化水工業(株)は、建築基準法の改正による影響で、建設工事の大幅な遅れが生じるとともに、建設資材の高騰も加わり、経常利益は赤字となりました。
2. 戸田マテリアル(株)は、リチウムイオン電池正極材料の規模の拡大に伴い、黒字転換しました。
3. 戸田ピグメント(株)は、原燃料価格上昇の影響も有りましたが、不採算銘柄の絞込みや価格の是正活動等により、経常利益は前年並みとなりました。
4. 戸田工業ヨーロッパGmbHは、H.C.スタルク社の電池材事業を引継いだ影響で、売上は大幅に増加しましたが、経常利益は大幅な赤字となりました。
5. 戸田アメリカInc.は、安定した経営を継続しています。
6. 戸田塑磁材料(浙江)有限公司は、中国国内での拡販と稼働率の向上により、増収増益を継続しています。
7. 戸田アドバンストマテリアルズInc.は、電池材の生産委託の形態で運営しました。08年度より、生産販売の会社に移行します。

(単位：百万円)

	07年3月期	08年3月期	前期比
設備投資	1,709	4,854	284%
研究開発	1,513	1,698	112%
減価償却	1,829	2,282	125%

1. 設備投資の内訳は、カラートナー用材料の増産、リチウムイオン電池材料の性能向上、アンテナ用フェライト基盤の生産、ケーブル被覆用環境安定剤の生産に対する設備です。
2. 研究開発費は、新規事業の開発に重点配分しており、引続き規模の拡大を続けます。
3. 減価償却費は、設備投資の拡大に伴い増加しています。